



福島県立梁川高等学校
 令和元年6月14日
 校長だより
 知性 誠実 責任
 第 24 号

■ 校内球技大会

6月6日（木）・7日（金）の2日間にわたり、スポーツを通してクラスの親睦を図ることを目的として校内球技大会が行われました。クラスごとの団体戦の形式で、種目は男子がバレーボールとバドミントン、女子もバレーボールとバドミントンでした。

生徒会執行部や体育委員会の生徒、そして運動部の生徒も運営や審判、得点係に携わり、自分たちで大会を運営していました。



女子バレーボール



男子バドミントン



男子バレーボール



女子バレーボール



男子バドミントン



男子バレーボール



女子バレーボール優勝チーム
 VS
 教員チーム



3年1組



男子バレーボール優勝チーム
 VS
 教員チーム



3年2組

■ 学校評議員会

学校公開の時期に合わせて、6月13日（木）に第1回学校評議員会が開かれました。学校評議員制度は、平成12年度から始まった制度です。

《評議員の職務》

評議員は、校長の求めに応じて、教育活動の計画・実施、学校と地域社会との連携の進め方等、校長の行う学校運営に関して、意見を述べる。

《評議員の任期》

評議員の任期は、委嘱の日から翌年の3月31日までとする。再任については、原則として、3年を超えないものとする。

梁川高校では、3名の方に学校評議員をお願いしており、以下のような内容で評議員会を開催することになります。

回	月 日	内 容
第1回	6月13日（木）	○ 授業参観 ○ 学校経営・運営ビジョン、学校概況の説明と意見交換
第2回	11月20日（水）	○ 授業参観 ○ 学校評価「中間評価報告書」についての意見交換 ○ 校内服務倫理委員会への参加
第3回	2月17日（月）	○ 学校評価「自己評価実施報告書」についての意見交換 ○ 学校評議員による評価

学校評議員制度は、学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、日本で初めて地域住民の学校運営への参画の仕組みを新たに制度的に位置付けたものでした。

学校評議員は、学校や地域の実情に応じて、学校運営に関し、次のことができるようにするものです。

- ◆ 保護者や地域住民等の意向を把握し反映すること
- ◆ 保護者や地域住民等の協力を得ること
- ◆ 学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと

学校にとって大切なことは、“外の目が入る”ことです。学校評議員制度は、今までは見えなかったことや気付かなかったことを指摘していただき、開かれた学校づくりを進め、特色ある教育活動を展開していくために必要な制度となっています。